

No. 58

津地区の景況調査

平成23年上期実績と平成23年下期見通し
(平成23年7月調査)

津商工会議所・中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と今後の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	7
3	売上の現状	9
4	利益状況	10
5	販売条件と仕入条件	11
6	設備投資	13
7	資金繰りの動向	13
8	借入の動向	15
9	借入予定と借入希望先	15
10	経営上の問題点	17
付帯調査	BCP（事業継続計画）の策定予定について	18
	調査票	19

I. 調査概要

1. 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営管理に役立つ資料を提供することを目的とする。
2. 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている2,217企業を対象に実施しました。
3. 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
4. 調査期間 平成23年6月27日～7月8日
5. 調査対象期間 平成23年1～6月実績と平成23年7～12月見通し
6. 回収集計数 回収集計数企業 337 (回収集計率 15.2%)
うち小規模企業 200
7. 調査機関 津商工会議所・中小企業相談所

D I - Diffusion. Index (ディフュージョン・インデックスの略)

本文のD Iとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものでとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

B. S. I 値 (ビジネス・サーバイ・インデックス) の見方について

B. S. I. とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

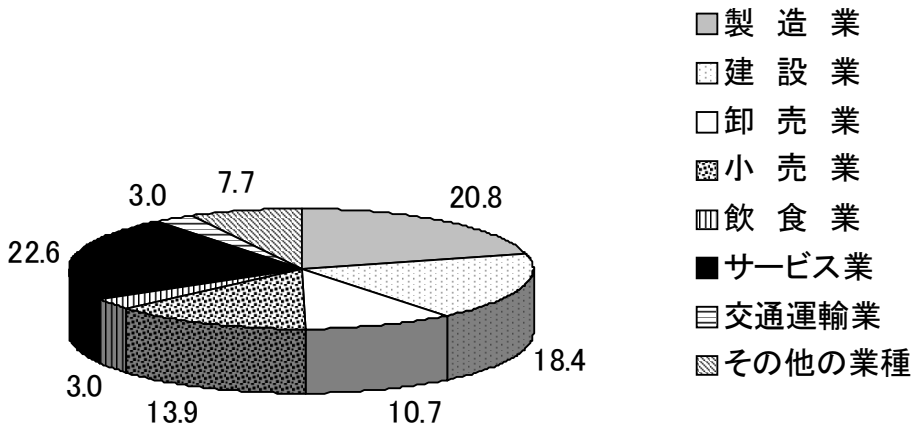
(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合があります。

回答状況

業種別回答比率

(単位：%)



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	計
全産業	150 44.5	94 27.9	41 12.2	23 6.8	29 8.6	337
製造業	26 37.1	13 18.6	10 14.3	8 11.4	13 18.6	70
建設業	27 43.5	27 43.5	4 6.5	2 3.2	2 3.2	62
卸売業	12 33.3	12 33.3	8 22.2	3 8.3	1 2.8	36
小売業	27 57.4	9 19.1	3 6.4	1 2.1	7 14.9	47
飲食業	7 70.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	10
サービス業	37 48.7	21 27.6	9 11.8	6 7.9	3 3.9	76
交通運輸業	0 0.0	3 30.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	10
その他の業種	14 53.8	7 26.9	2 7.7	1 3.8	2 7.7	26

全 産 業 D I

	業況判断	売り上げ	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
23年7月～12月 見通し	△ 44.7	△ 39.5	—	—	—	△ 27.7
23年1月～6月 実績	△ 48.6	△ 33.5	△ 37.1	△ 36.2	△ 33.8	△ 22.9
22年7月～12月 実績	△ 40.3	△ 22.7	△ 32.2	△ 28.1	△ 24.2	△ 19.6
22年1月～6月 実績	△ 54.3	△ 39.4	△ 43.0	△ 38.7	△ 28.1	△ 22.3

産 業 別 D I (23年1～6月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	△ 41.4	△ 14.4	△ 12.9	△ 25.7	△ 33.3	△ 20.0
建 設 業	△ 48.4	△ 38.8	△ 48.4	△ 46.8	△ 37.1	△ 17.7
卸 売 業	△ 44.4	△ 33.3	△ 41.7	△ 41.7	△ 38.9	△ 16.6
小 売 業	△ 59.6	△ 48.9	△ 44.7	△ 44.6	△ 29.8	△ 27.6
飲 食 業	△ 80.0	△ 60.0	△ 80.0	△ 70.0	△ 70.0	△ 70.0
サービス業	△ 42.1	△ 31.6	△ 34.4	△ 31.6	△ 29.0	△ 19.7

Ⅱ. 調査結果

1. 現状と今後の見通し（表－1、図－1・2参照）

※平成21年上期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大実施。

(1) 現況

全産業の業況判断DIは、今期実績値△48.6は前期△40.3と比べ、8.3ポイントの悪化となっており、前期までの連続の改善傾向から一変したことが読み取れる。小規模企業はほぼ横ばいで△51.0となっており、足踏み状態と言える。全体の業種別では建設業6.2ポイント改善したほかは、悪化傾向を示している。中でも小売業は17.7ポイント悪化となっている。小規模企業でも、全体と同様の動きを見せられている。

(2) 今後の見通し

全産業の見通し判断DIは△44.7と、今期の現状実績値△48.6と比べ3.9ポイント増加とやや慎重な見通しを示している。小規模企業では製造業で23.2ポイントの改善見通しが伺え、持ち直しを示唆している。しかし、卸売業・小売業では横ばい・減少の見通しとなっており回復には時間がかかる模様である。

表－1 経営の現状と今後の見通し

	実 績			来期の見通し
	22年1月～6月	22年7月～12月	23年1月～6月	23年7月～12月
全 産 業	△ 54.3	△ 40.3	△ 48.6	△ 44.7
	△ 62.7	△ 47.8	△ 51.0	△ 42.0
製 造 業	△ 57.4	△ 33.0	△ 41.4	△ 30.0
	△ 70.0	△ 46.8	△ 59.1	△ 35.9
建 設 業	△ 62.3	△ 54.6	△ 48.4	△ 48.4
	△ 65.0	△ 52.5	△ 48.1	△ 44.5
卸 売 業	△ 65.7	△ 36.6	△ 44.4	△ 50.0
	△ 76.9	△ 41.7	△ 41.7	△ 50.1
小 売 業	△ 36.7	△ 41.9	△ 59.6	△ 59.5
	△ 51.4	△ 43.2	△ 59.2	△ 59.2
飲 食 業	△ 80.0	△ 66.6	△ 80.0	△ 90.0
	△ 77.7	△ 80.0	△ 85.7	△ 85.7
サービ業	△ 46.1	△ 35.1	△ 42.1	△ 39.4
	△ 58.5	△ 45.2	△ 40.5	△ 32.4

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

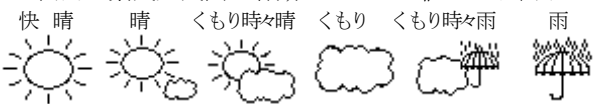
※下段DI値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	22年1月～6月	22年7月～12月	23年1月～6月	23年7月～12月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				
小 売 業				
飲 食 業				
サービス業				

D I = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

※表内の景気天気図は各期ごとのD I 値により表示

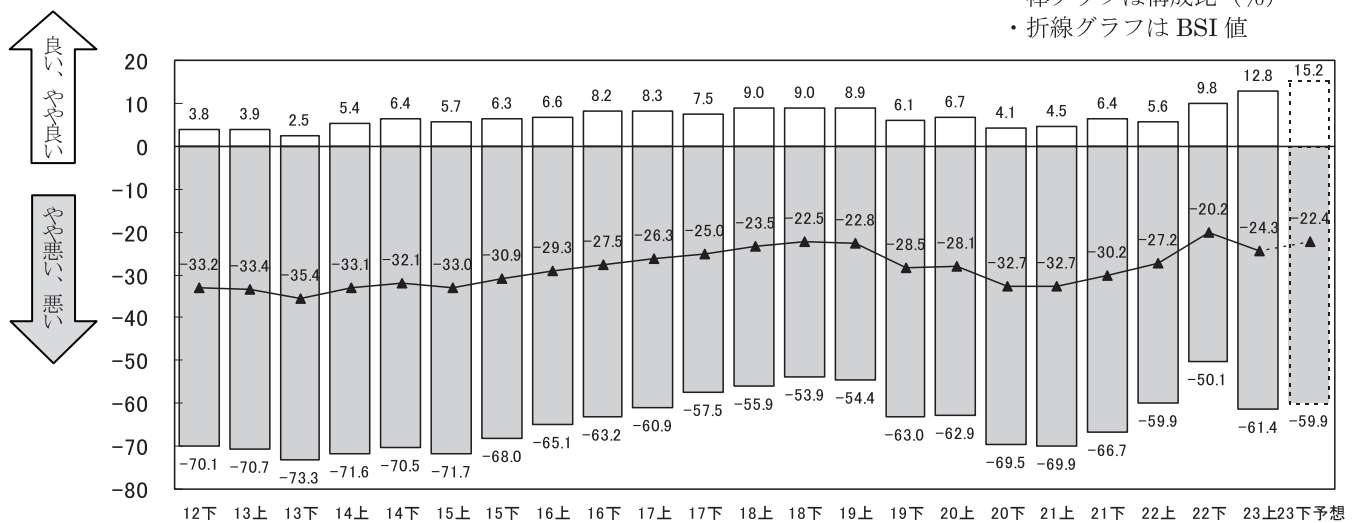


景気判断 D I

50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

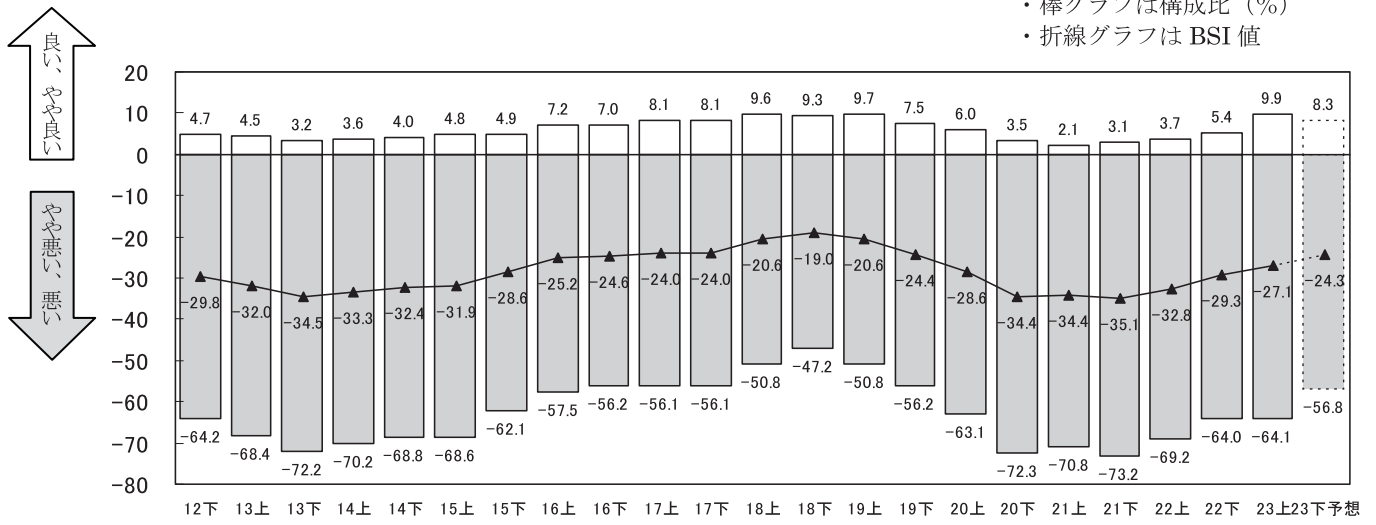
図-1 津地区の経営の現状と見通し

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフはBSI 値



図－２ 三重県下の経営現状と見通し

- ・棒グラフは構成比 (%)
- ・折線グラフは BSI 値



2. 売上状況と来期の見通し（表－2 参照）

（1）今期の動向

全産業の売上DIは今期△33.5、前期△22.7と比べ10.8ポイントの悪化となった。業種別で見ると製造業を除く全業種で悪化となっており、小売業では昨年同期より低い数値を示している。一方、小規模企業では卸売業が改善の傾向を示している。

（2）今後の見通し

全産業の売上見通し判断DIは△39.5、今期の現状実績値△33.5と比べ6.0ポイントのマイナス幅増加となった。業種別では、実績値では製造業で5.8ポイント改善の見込みであり、回復の兆しが伺える。しかしそれ以外の業種では軒並み悪化・減少の傾向を示している。

表－2 最近の売上と今後の見通し

	実 績			今後の見通し
	22年1月～6月	22年7月～12月	23年1月～6月	23年7月～12月
全 産 業	△ 39.4 △ 45.9	△ 22.7 △ 35.8	△ 33.5 △ 41.0	△ 39.5 △ 40.0
製 造 業	△ 29.3 △ 46.0	△ 17.5 △ 35.0	△ 14.4 △ 51.3	△ 8.6 △ 23.1
建 設 業	△ 40.0 △ 40.3	△ 29.6 △ 33.4	△ 38.8 △ 31.4	△ 56.4 △ 51.8
卸 売 業	△ 54.2 △ 61.6	△ 19.5 △ 33.3	△ 33.3 △ 25.0	△ 52.7 △ 41.6
小 売 業	△ 34.7 △ 45.7	△ 20.0 △ 32.4	△ 48.9 △ 55.5	△ 53.1 △ 55.5
飲 食 業	△ 80.0 △ 77.8	△ 22.2 △ 80.0	△ 60.0 △ 71.5	△ 70.0 △ 71.4
サービス業	△ 37.1 △ 39.6	△ 28.8 △ 43.4	△ 31.6 △ 40.5	△ 39.6 △ 43.2

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	22年1月～6月	22年7月～12月	23年1月～6月	23年7月～12月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				
小 売 業				
飲 食 業				
サービス業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合－悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示
 快晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨



景 気 判 断 DI

50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
 50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

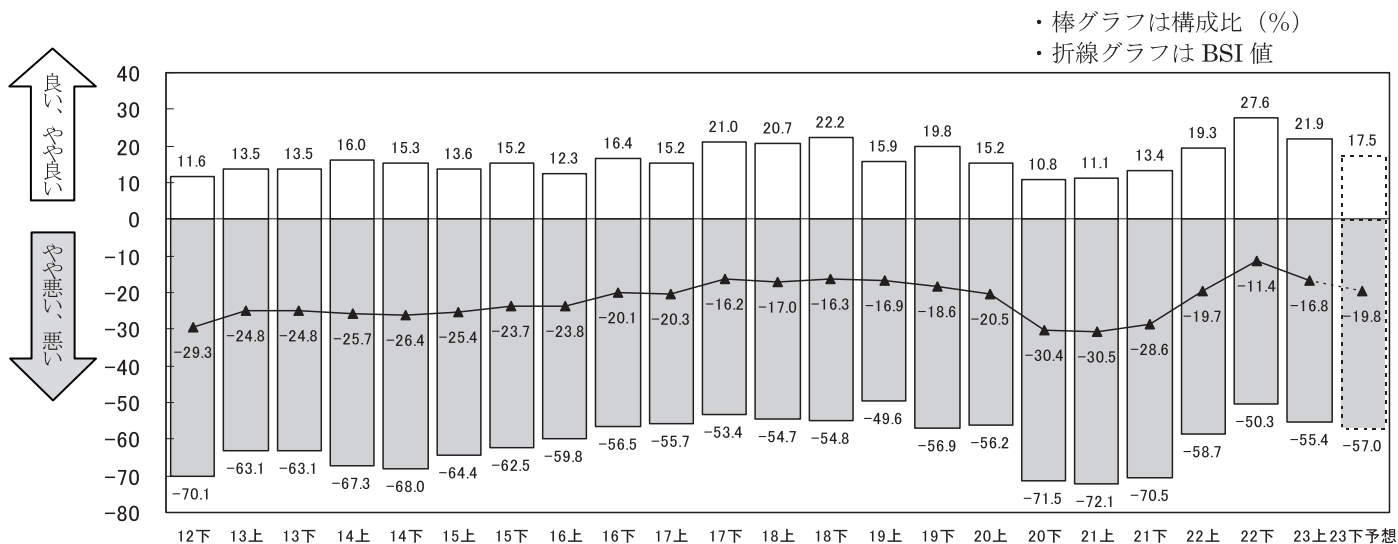
※下段DI値は小規模企業

3. 売上の現状（図－3・4参照）

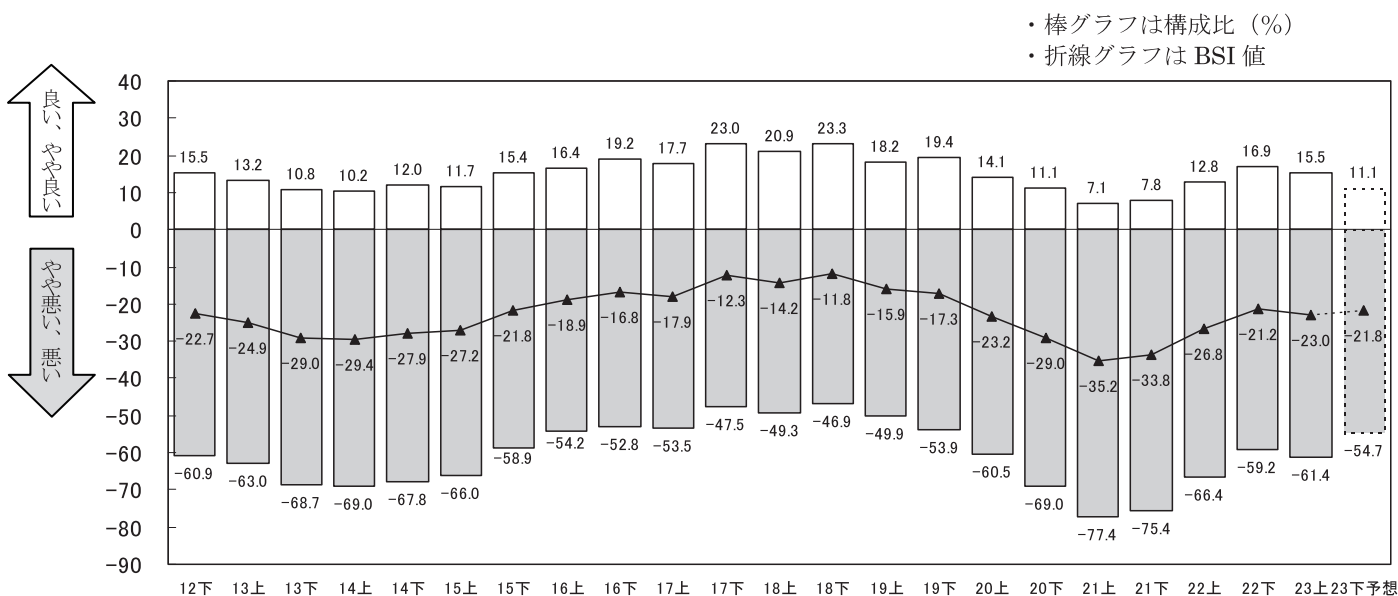
今期売上が増加した企業は全体で337企業中74企業21.9%（前期27.6%）、小規模企業では200企業中32企業16.0%（前期20.4%）。全体、小規模企業ともに低い数値に留まった。

一方、今期売上が減少した企業は337企業中187企業55.4%（前期50.3%）、小規模企業では200企業中114企業57.0%（前期56.2%）。全体、小規模企業ともに増加となった。

図－3 津地区の売上の現状と見通し



図－4 三重県下の売上の現状と見通し



4. 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益判断DIは△37.1と前期△32.2に比べ4.9ポイント降下した。業種別で見るとサービス業で7.1ポイント上昇のほかは、全業種で後退となっている。小規模企業で見ると製造業が11.8ポイント悪化と他の業種より大きく数値を落とした。

表－3 利益状況

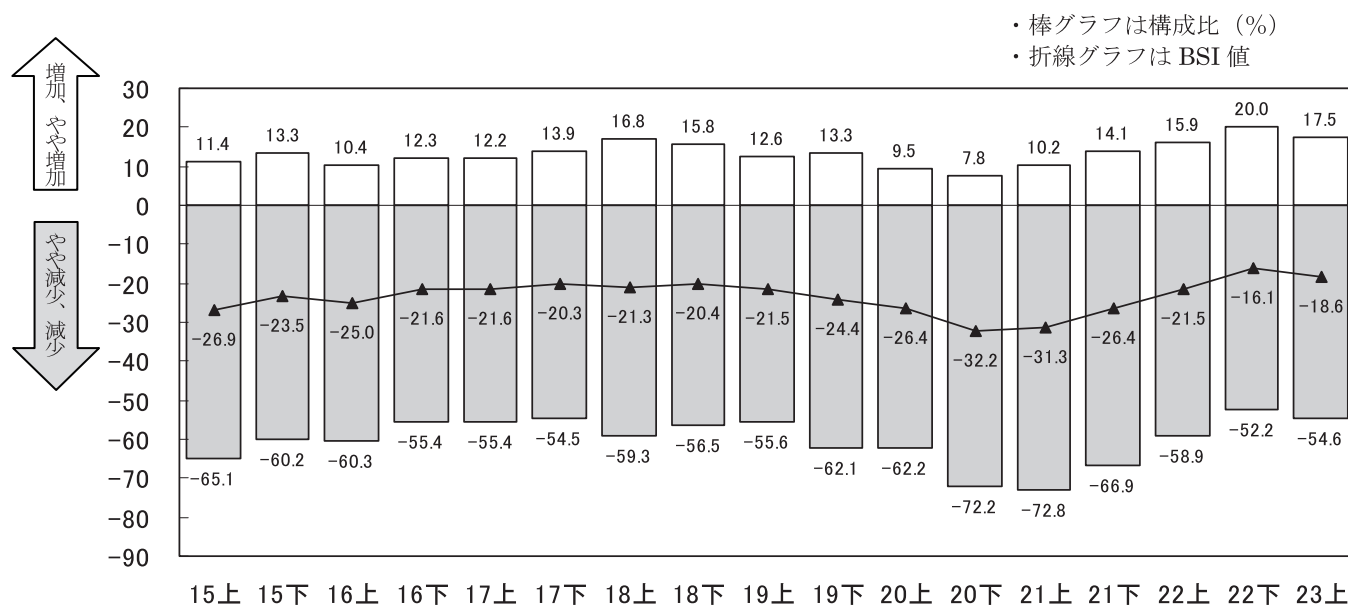
	実 績		
	22年1月～6月期	22年7月～12月期	23年1月～6月期
全産業	△ 43.0 △ 53.4	△ 32.2 △ 40.9	△ 37.1 △ 44.0
製造業	△ 34.1 △ 58.0	△ 8.7 △ 26.7	△ 12.9 △ 38.5
建設業	△ 43.4 △ 41.6	△ 38.6 △ 42.2	△ 48.4 △ 46.2
卸売業	△ 57.1 △ 69.3	△ 29.3 △ 33.4	△ 41.7 △ 33.4
小売業	△ 28.5 △ 45.7	△ 41.9 △ 43.2	△ 44.7 △ 48.1
飲食業	△ 90.0 △ 88.9	△ 77.7 △ 100.0	△ 80.0 △ 71.4
サービス業	△ 43.8 △ 56.6	△ 41.4 △ 52.8	△ 34.3 △ 45.9

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図－5 利益状況



5. 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－4、図－6 参照）

全産業の販売条件判断D Iは△33.8と前期△28.1に比べ5.7ポイント下降となった。前々期から前期の間での改善幅 10.6 ポイントと比べて後退したことが見て取れる。業種別で見るとサービス業で10.3ポイント上昇のほか、卸売業では12.1ポイント改善している。他の業種は下降または横ばいの数値を示した。

表－4 販売条件

	実 績		
	22年1月～6月期	22年7月～12月期	23年1月～6月期
全 産 業	△ 38.7	△ 28.1	△ 33.8
	△ 39.2	△ 34.3	△ 36.5
製 造 業	△ 39.0	△ 20.4	△ 31.5
	△ 46.0	△ 33.3	△ 33.3
建 設 業	△ 37.6	△ 39.7	△ 37.1
	△ 37.7	△ 39.7	△ 48.1
卸 売 業	△ 51.3	△ 26.8	△ 38.9
	△ 38.5	△ 16.6	△ 16.7
小 売 業	△ 18.3	△ 25.5	△ 29.8
	△ 28.5	△ 32.4	△ 33.3
飲 食 業	△ 60.0	△ 22.2	△ 70.0
	△ 55.5	△ 40.0	△ 71.4
サービス業	△ 46.1	△ 39.3	△ 29.0
	△ 45.3	△ 39.5	△ 45.9

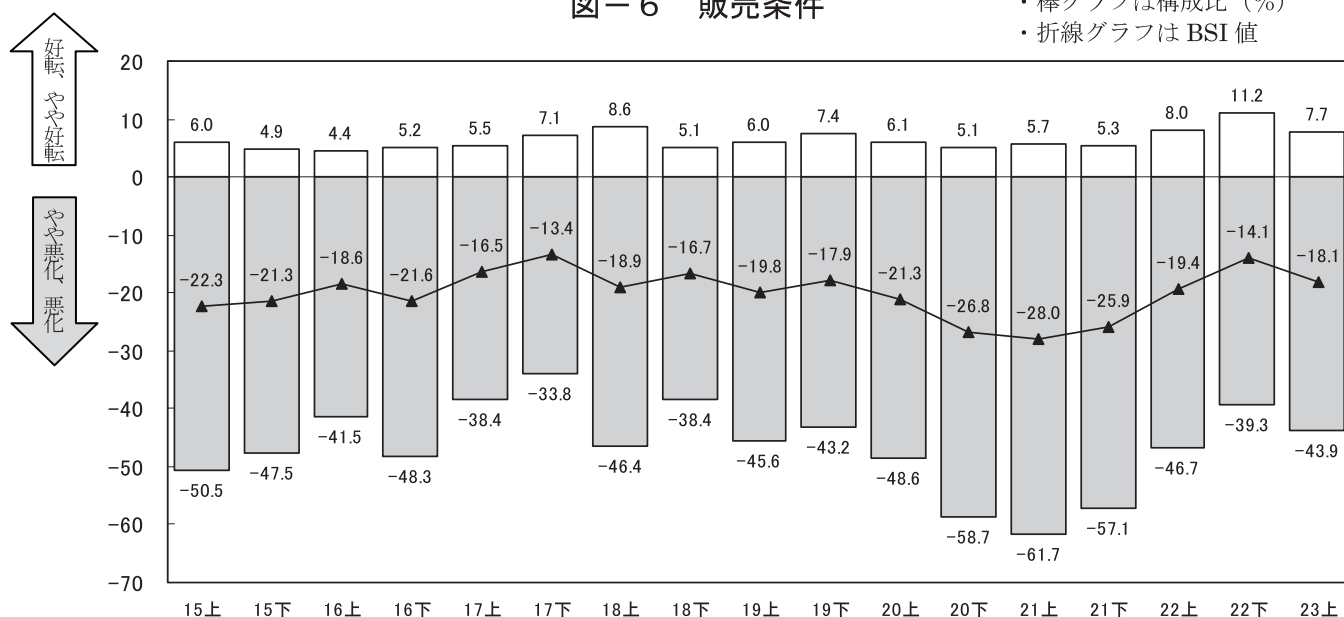
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段()内D I値は小規模企業

図－6 販売条件

- ・棒グラフは構成比（%）
- ・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件 (表-5、図-7 参照)

全産業の仕入状況判断DIは△33.8と前期△24.2に比べ9.6ポイント下降となった。業種別で見ると上昇を示した業種はなく、全ての業種で下降となった。小規模企業では卸売業は昨年同期と比較すると16.8ポイントの下降と、大きな悪化となったことが伺える。

表-5 仕入条件

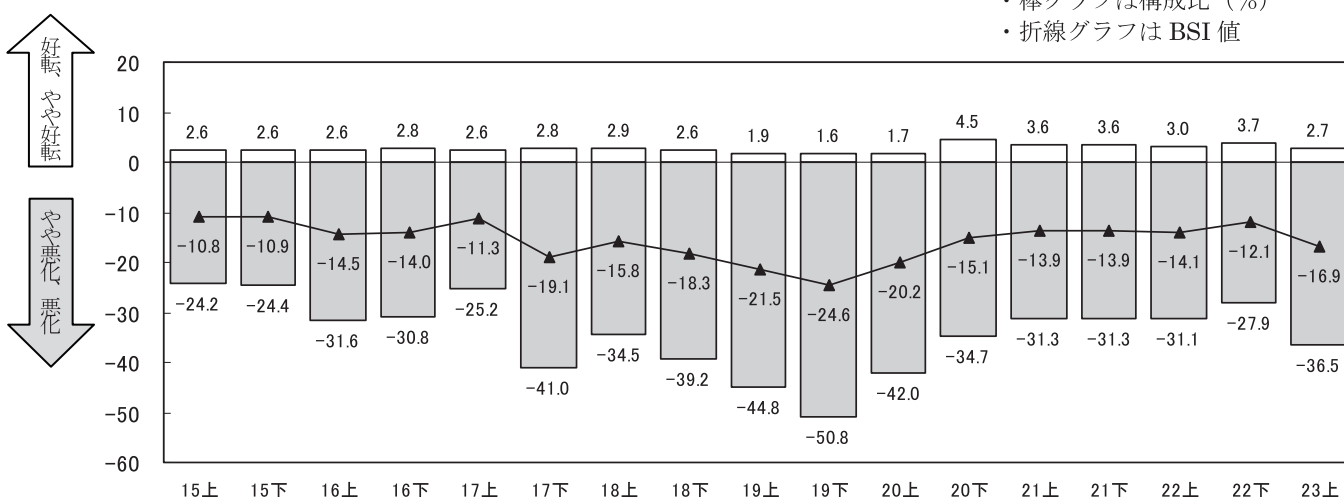
	実 績		
	22年1月～6月期	22年7月～12月期	23年1月～6月期
全 産 業	△ 28.1	△ 24.2	△ 33.8
	△ 28.2	△ 26.6	△ 33.0
製 造 業	△ 32.9	△ 25.2	△ 31.5
	△ 36.0	△ 31.7	△ 35.9
建 設 業	△ 30.7	△ 22.7	△ 37.1
	△ 29.9	△ 23.0	△ 37.0
卸 売 業	△ 37.1	△ 26.9	△ 38.9
	△ 15.4	△ 16.6	△ 33.4
小 売 業	△ 14.3	△ 18.2	△ 29.8
	△ 19.9	△ 24.3	△ 22.2
飲 食 業	△ 40.0	△ 55.5	△ 70.0
	△ 33.3	△ 40.0	△ 57.2
サービス業	△ 24.6	△ 23.4	△ 29.0
	△ 26.4	△ 32.0	△ 37.8

DI=好転(高い)の割合-悪化(低下)の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図-7 仕入条件



6. 設備投資（表－6参照）

(1) 今期の動向

今期設備投資を実施した企業は337企業中75企業22.3%と前期26.7%と比べ、4.4ポイントの減少となった。業種別では卸売業が7.7ポイント減少に転じたが、それ以外の業種ではほぼ横ばいとなった。

(2) 来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は337企業中73企業21.7%と今期実績値22.3%に比べほぼ同数値の見込となっている。業種別では横ばい、もしくは減少の見込である。

表－6 設備投資実施企業割合

(単位：%)

	実 績			来期計画
	22年1月～6月期	22年7月～12月期	23年1月～6月期	23年7月～12月期
全産業	19.6	26.7	22.3	21.7
	13.3	16.8	17.5	14.5
製造業	24.4	40.8	37.1	38.6
	20.0	26.7	28.2	25.6
建設業	14.1	14.8	14.5	11.3
	14.3	12.8	9.3	7.4
卸売業	17.1	24.4	16.7	8.3
	0.0	0.0	8.3	0.0
小売業	14.3	20.0	19.1	19.1
	5.7	10.8	7.4	3.7
飲食業	10.0	55.6	0.0	10.0
	11.1	40.0	0.0	14.3
サービス業	22.5	25.5	18.4	18.4
	15.1	20.8	24.3	16.2

※下段の値は小規模企業

7. 資金繰りの動向（表－7、図－8参照）

(1) 今期の動向

全産業の今期の資金繰り判断DIは $\Delta 22.9$ と前期 $\Delta 19.6$ に比べ3.3ポイントの悪化となった。昨年同期の $\Delta 22.3$ と比較すると同水準へ戻ったと見られる。業種別で見ても同様の傾向を示している。

(2) 来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断DIは $\Delta 27.7$ と今期実績値 $\Delta 22.9$ に比べ、4.8ポイント減少の見通しで、大幅な改善は見込まれていない。

表-7 資金繰り

	実 績			来期見通し
	22年1月～6月期	22年7月～12月期	23年1月～6月期	23年7月～12月期
全産業	△ 22.3 △ 31.3	△ 19.6 △ 24.5	△ 22.9 △ 29.5	△ 27.7 △ 29.5
製造業	△ 20.6 △ 38.0	△ 15.6 △ 20.0	△ 20.0 △ 35.9	△ 21.4 △ 25.6
建設業	△ 28.2 △ 29.9	△ 28.3 △ 30.7	△ 17.7 △ 22.3	△ 25.9 △ 24.1
卸売業	△ 2.9 △ 15.4	△ 7.3 △ 16.7	△ 16.6 △ 8.4	△ 22.2 0.0
小売業	△ 18.3 △ 25.7	△ 14.6 △ 16.2	△ 27.6 △ 29.6	△ 34.0 △ 33.3
飲食業	△ 70.0 △ 66.6	△ 44.4 △ 80.0	△ 70.0 △ 71.4	△ 60.0 △ 85.8
サービス業	△ 22.5 △ 28.2	△ 24.5 △ 26.4	△ 19.7 △ 35.1	△ 26.3 △ 35.1

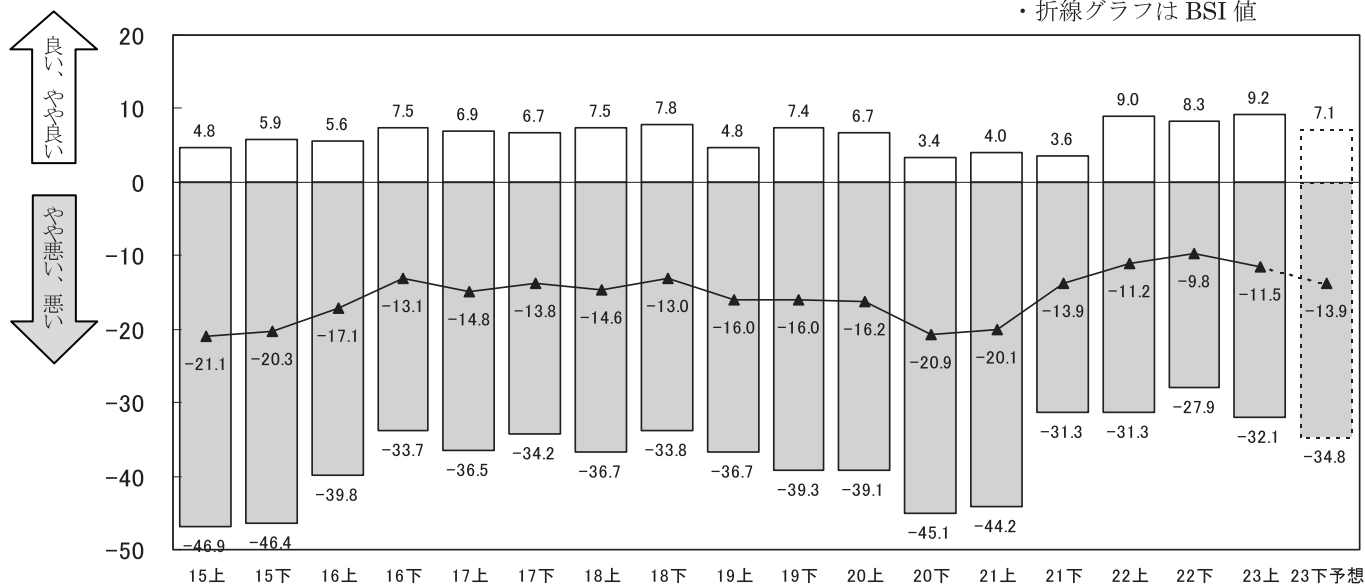
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図-8 資金繰りの現状と見通し

- ・棒グラフは構成比 (%)
- ・折線グラフはBSI値



8. 借入の動向（表－8 参照）

全産業の借入難易度判断DIは15.5と前期10.6に比べ4.9ポイントの改善となった。業種別では、昨期は容易さが増した卸売業では今期は18.2と12.6ポイント悪化傾向を示した。

表－8 借入の難易度

	実 績		
	22年1月～6月期	22年7月～12月期	23年1月～6月期
全 産 業	6.2 △ 1.0	10.6 △ 2.4	15.5 9.2
製 造 業	6.6 3.8	20.0 9.4	28.5 23.6
建 設 業	4.6 0.0	△ 6.4 △ 7.3	6.2 △ 3.7
卸 売 業	23.5 20.0	30.8 0.0	18.2 0.0
小 売 業	16.7 12.5	16.7 6.3	22.6 16.7
飲 食 業	△ 50.0 0.0	△ 20.0 △ 100.0	△ 25.0 △ 50.0
サービス業	△ 2.5 △ 17.4	△ 10.9 0.0	4.8 12.5

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

9. 借入予定と借入希望先（図－9 参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は337企業中97企業で全体の28.8%、前期24.8%となり、借入希望は微増状況である。業種別で見てもほぼ横ばいまたは増加しているが、小売業が前期23.6ポイントから36.2ポイントへ12.6ポイント増加しており、資金需要が伺える。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は68.0%と前期70.4%と比べほぼ横ばいとなっている。製造業では、公的金融機関から借り入れるとした割合を昨期より増加させた。

資金使途では運転資金は71.1%（昨期81.5%）、設備資金26.8%（昨期15.7%）となっており、前期では運転資金需要の高まりを示していたが、今期は設備資金へシフトしたと言える。

図-9-① 借入予定

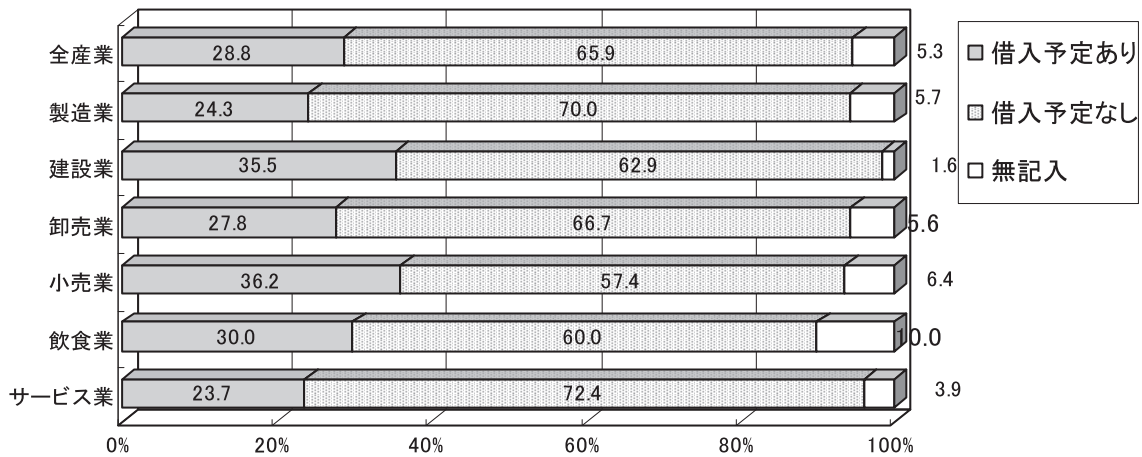


図-9-② 借入希望先

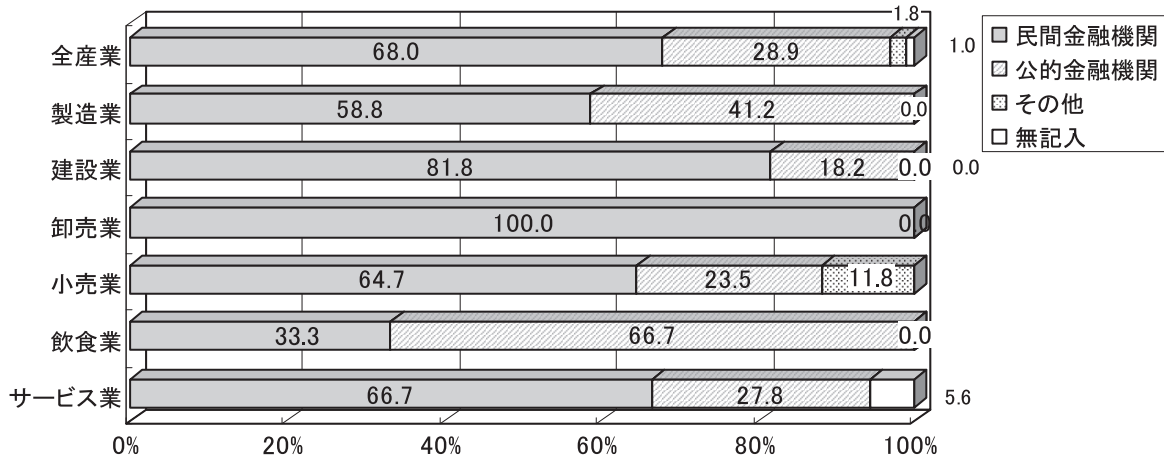
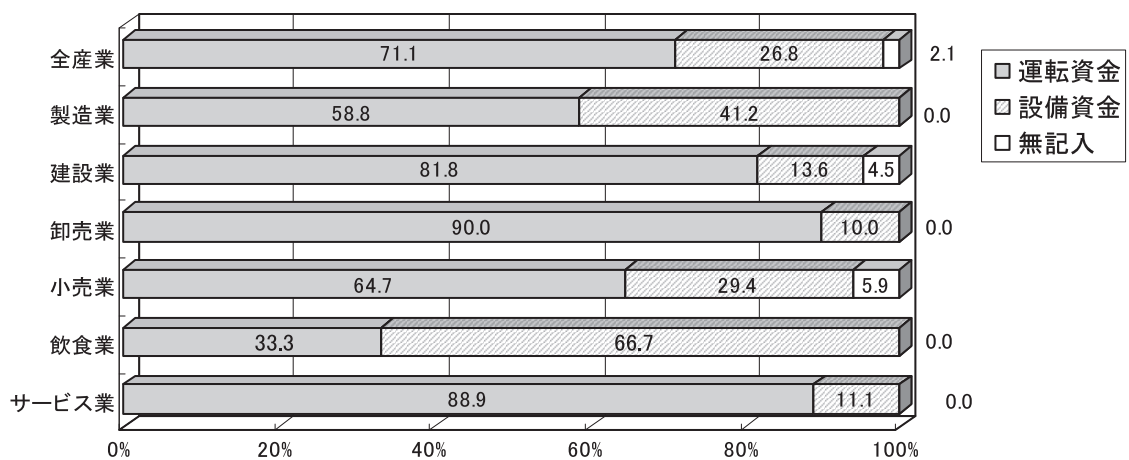


図-9-③ 借入資金の使途予定



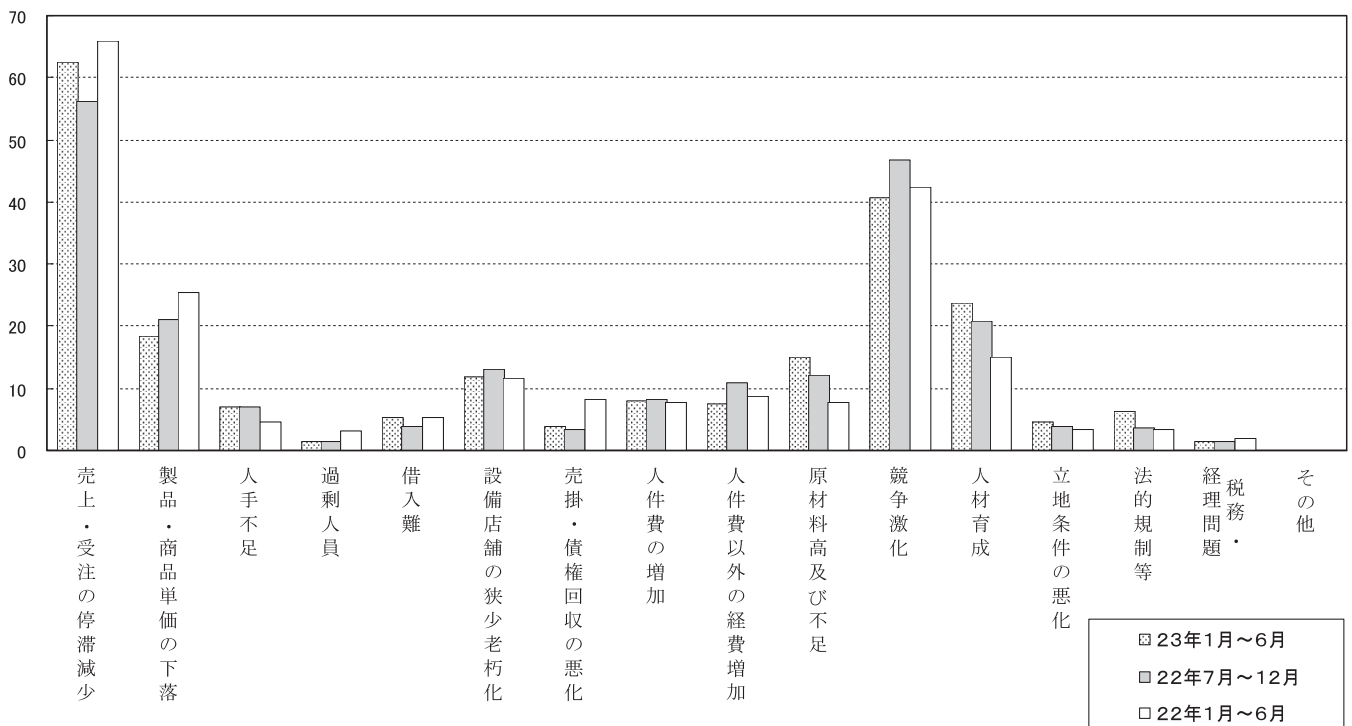
10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（表－9、図－10 参照）

全産業の経営上の問題点は1・2位は17期連続で「売上・受注の停滞・減少」、「競争激化」となり、3位は昨期に引き続き「製品・商品の単価の下落」となった。1位の「売上・受注の停滞・減少」は前期までその比率を下げていたが、今期は増加に転じた。一方、2位の「競争激化」は前期まで比率を上昇させていたが、今期は減少するという結果となった。

業種別で見ると全業種で、「売上・受注の停滞・減少」が1位となっている。製造業と小売業では第3位に「人材育成」を挙げる企業が増加し、それまでより順位を高めた。

図－10 全産業・経営上の問題点

（単位：％）



表－9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

順位 産業		22年7月～12月期			23年1月～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産 業 別	全産業	売上・受注の 停滞減少 56.3	競争激化 46.7	製品・商品 単価の下落 21.1	売上・受注の 停滞減少 62.6	競争激化 40.7	人材育成 23.7
	製造業	売上・受注の 停滞減少 56.3	競争激化 39.8	製品・商品 単価の下落 27.2	売上・受注の 停滞減少 60.0	製品・商品 単価の下落 31.4	人材育成 30
	建設業	売上・受注の 停滞減少 64.8	競争激化 60.2	製品・商品 単価の下落 20.5	売上・受注の 停滞減少 74.2	競争激化 59.7	製品・商品 単価の下落 25.8
	卸売業	競争激化 70.7	売上・受注の 停滞減少 51.2	製品・商品 単価の下落 24.4	売上・受注の 停滞減少 51.2	競争激化 61.1	製品・商品 単価の下落 19.4
	小売業	売上・受注の 停滞減少 61.8	競争激化 41.8	製品・商品 単価の下落 27.3	売上・受注の 停滞減少 61.7	競争激化 27.7	人材育成 23.4
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 66.7	競争激化 33.3	設備店舗の 狭小老朽化 22.2	売上・受注の 停滞減少 60.0	原材料高 及び不足 40.0	立地条件 の悪化 40.0
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 52.1	競争激化 45.7	製品・商品 単価の下落 20.9	売上・受注の 停滞減少 53.9	競争激化 39.5	製品・商品 単価の下落 35.5

付帯調査 BCP（事業継続計画）の策定予定はありますか？

今回付帯調査項目として、「BCP（事業継続計画）の策定予定はありますか？」を追加し、調査を行った。その結果によると、もっとも多い回答は「既に策定している」20.1%、「これから策定する」21.0%、「策定しない」19.8%、「わからない」32.3%、「無回答」6.5%という結果となった。
「既に策定している」と「これから策定する」の合計で41.1%となり、「策定しない」19.8%を上回り関心の高さを伺わせる内容となった。

津地区企業の景況調査票

津商工会議所・中小企業相談所

平成 23 年 7 月

会議所	No.	コード
02		

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業種 (主たるもの1つ)

《製造業》	1. 食料品	2. 繊維品	3. 機械製品	4. 金属製品	5. 木材木製品
	6. 化学製品	7. 土石窯業	8. 印刷・出版	9. その他	
《建設業》	10. 土木工事	11. 建築工事	12. その他		
《卸売業》	13. 食料品	14. 繊維・身の回り品	15. その他		
《小売業》	16. 繊維・身の回り品	17. 食料品	18. 家具・日用品	19. 電気製品	20. その他
《飲食業》	21. 飲食店				
《サービス業》	22. 美容・理容	23. ホテル・旅館	24. 自動車整備	25. 不動産	26. その他
《交通運輸業》	27. 交通運輸	《その他》	28. その他		

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について

1. 良	2. やや良	3. 変わらない	4. やや悪	5. 悪
------	--------	----------	--------	------

4. 今後の見通しについてどう思いますか。

1. 良	2. やや良	3. 変わらない	4. やや悪	5. 悪	6. わからない
------	--------	----------	--------	------	----------

5. 売上状況について…平成23年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	----------	---------	-------

6. 売上の見通しについて…平成23年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますが。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	6. わからない
-------	---------	----------	---------	-------	----------

7. 利益状況について…平成23年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	----------	---------	-------

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成23年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好	3. 変わらない	4. やや悪	5. 悪
------	--------	----------	--------	------

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成23年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好	3. 変わらない	4. やや悪	5. 悪	6. 仕入なし
------	--------	----------	--------	------	---------

10. 設備投資について

23年1～6月の実績		23年7～12月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし

11. 資金繰りの現状について…平成23年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好	3. 変わらない	4. やや悪	5. 悪
------	--------	----------	--------	------

12. 資金繰りの見通しについて…平成23年7～12月は前年同期に比べてどうなると思いますが。

1. 好	2. やや好	3. 変わらない	4. やや悪	5. 悪	6. わからない
------	--------	----------	--------	------	----------

13. 借入の現状について…平成23年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

14. 借入予定はありますか…(平成23年7～12月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. BCP(事業継続計画)の策定予定はありますか？

1. 既に策定している	2. これから策定する	3. 策定しない	4. わからない
-------------	-------------	----------	----------

17. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

()

ご協力ありがとうございました。

津地区の小規模企業景況 No.58

平成23年9月発行

■ 編集 津商工会議所・中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内29-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1347-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665